

2022年9月期通期

決算説明資料

2022/11/11

株式会社ピアズ

東証グロース 7066



peers
NEW NORMAL ACCELERATION

通期計画と実績値の差異について

3Qに実施したM&Aの連結が開始したことから、売上高が増加。
利益面においては、一部の販管費が未消化となったことなどから計画値よりも上振れて着地。

(単位：百万円)	修正計画 (2022/5/13公表)	実績	計画対比	
			差異	達成率
売上高	3,490	3,793	+303	+8.7%
営業利益	40	76	+36	+90.8%
経常利益	63	84	+21	+34.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	37	67	+30	+83.0%

売上高の差異要因

2022年9月期の第3四半期において、4件のM&Aを実施。
第3四半期の途中から連結が開始されたことから大幅な増収となった。（計画対比：+303百万円）

	5月より譲受	5月より連結	6月より連結	
				
社名/事業名	NeoRad	株式会社イーフロンティア※	株式会社ウィル	株式会社 マックスプロデュース
資本金	—	100百万円	10百万円	10百万円
社員数	—	2名	250名	23名
事業内容	V-Tuberプロダクション事業	ソフトウェア・ハードウェアの 販売および輸出入等	人材アウトソーシング セールスプロモーションの企 画・制作・運営・管理業務	各種イベントの製作・ プロデュース業務
前年度業績 (単位：百万円)	売上1、経常△5	売上234、営利7	売上1,680、営利△6	売上406、営利△30
取得価格	10百万円	174百万円	1,166百万円	非開示

各段階利益の差異要因

各段階利益の業績予想と実績の差異要因は以下のとおり。

営業利益（計画対比：+36百万円）

- 採用およびM&Aに関する一部費用が未消化となったことから販管費が減少

経常利益（計画対比：+21百万円）

- 上記に加え、修正計画公表後に実施をしたM&Aに伴う資金借入を実行したことから、支払利息が増加

ご参考：2022年5月30日付「[資金の借入に関するお知らせ](#)」

親会社株主に帰属する当期純利益（計画対比：+30百万円）

- 上記に加え、株式会社メタライブの吸収合併を行い、繰越欠損金を引き継いだことから法人税等が減少した一方、固定資産の減損損失を計上

ご参考：2022年8月12日付「[完全子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ](#)」

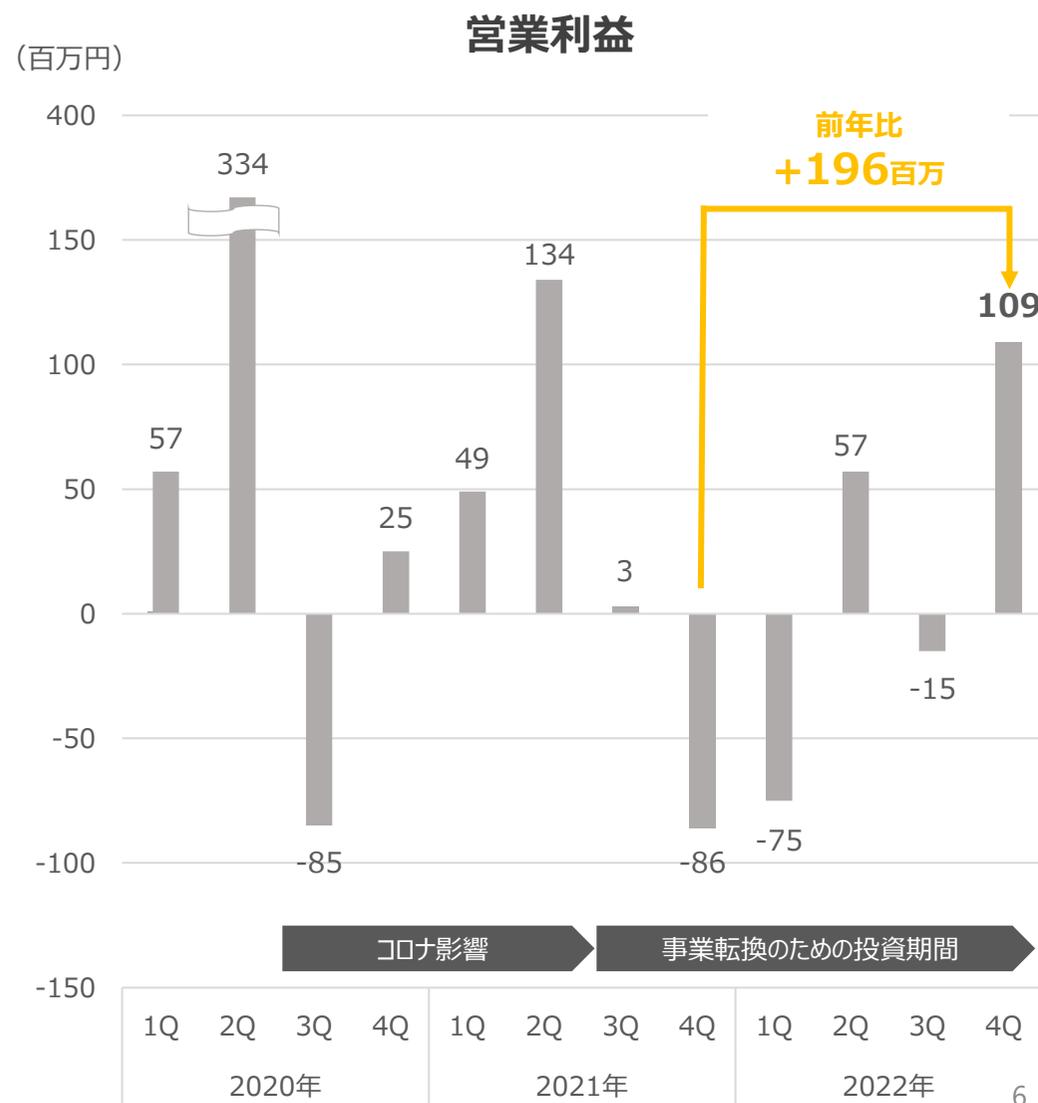
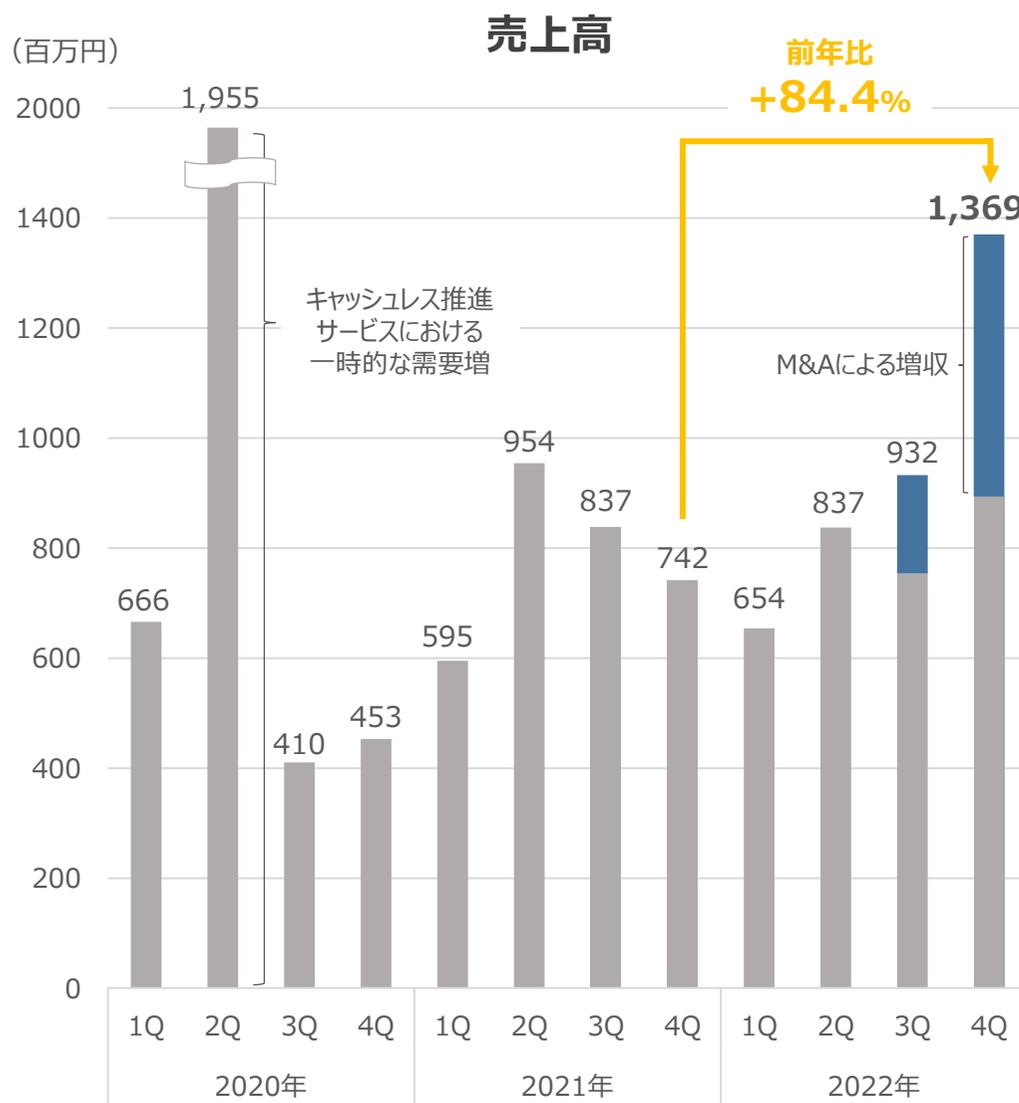
2022年9月期 通期業績（前年同期比）

オンライン接客サービスの伸びに加え、3Qに実施したM&Aの業績貢献により大幅増収。
前期比では減益となったものの、4Qにて**黒字転換**。

(単位：百万円)	2021年9月期 連結累計期間	2022年9月期 連結累計期間	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	3,130	3,793	663	+21.2%
営業利益	101	76	△24	△24.6%
経常利益	137	84	△52	△38.5%
親会社株主に 帰属する当期純利益	52	67	15	+29.9%

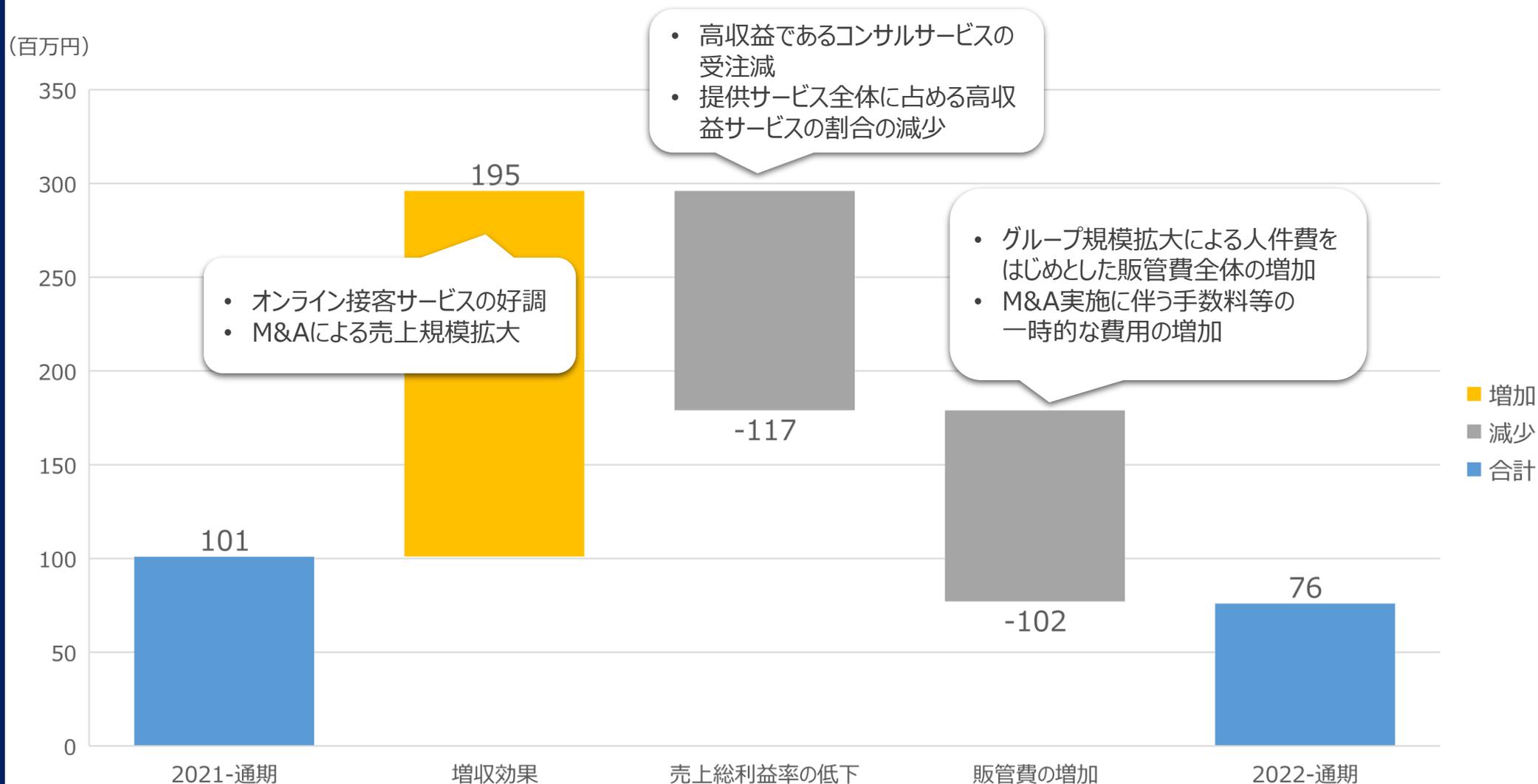
四半期業績の推移

3Qに引き続き、4Qにおける**過去最高売上高を更新**。
 営業利益についても、オンライン接客をはじめとする既存サービスの収益改善により増益。



営業利益増減分析（前年同期比）

M&Aにより売上高が伸長するとともに事業構造が変化したため、売上総利益率が低下。
事業規模拡大により販管費も全体的に増加している。



連結貸借対照表

M&Aに伴い、資産・負債ともに大幅に増加。

M&A資金の銀行借入実行により、自己資本比率が減少したものの、現預金を約23億円保有。

(単位：百万円)	2021年9月末	2022年9月末	増減額
流動資産	2,578	3,420	+841
うち現預金	1,866	2,345	+479
固定資産	439	1,106	+667
うちのれん	17	306	+288
資産合計	3,018	4,527	+1,508
流動負債	332	1,354	+1,022
固定負債	500	1,085	+585
負債合計	832	2,439	+1,607
純資産合計	2,186	2,087	△98
負債純資産合計	3,018	4,527	+1,508
自己資本比率	72.4%	46.1%	

流動資産

主にM&Aに伴う現預金の増加

固定資産

主にM&Aによるのれんの増加、RemoteworkBOX設備、自社サービスのソフトウェア資産の増加

流動負債

主にM&Aに伴う買収資金の銀行借入の実行および子会社2Linksにおける借入の実行

固定負債

主にM&Aに伴う買収資金の銀行借入の実行

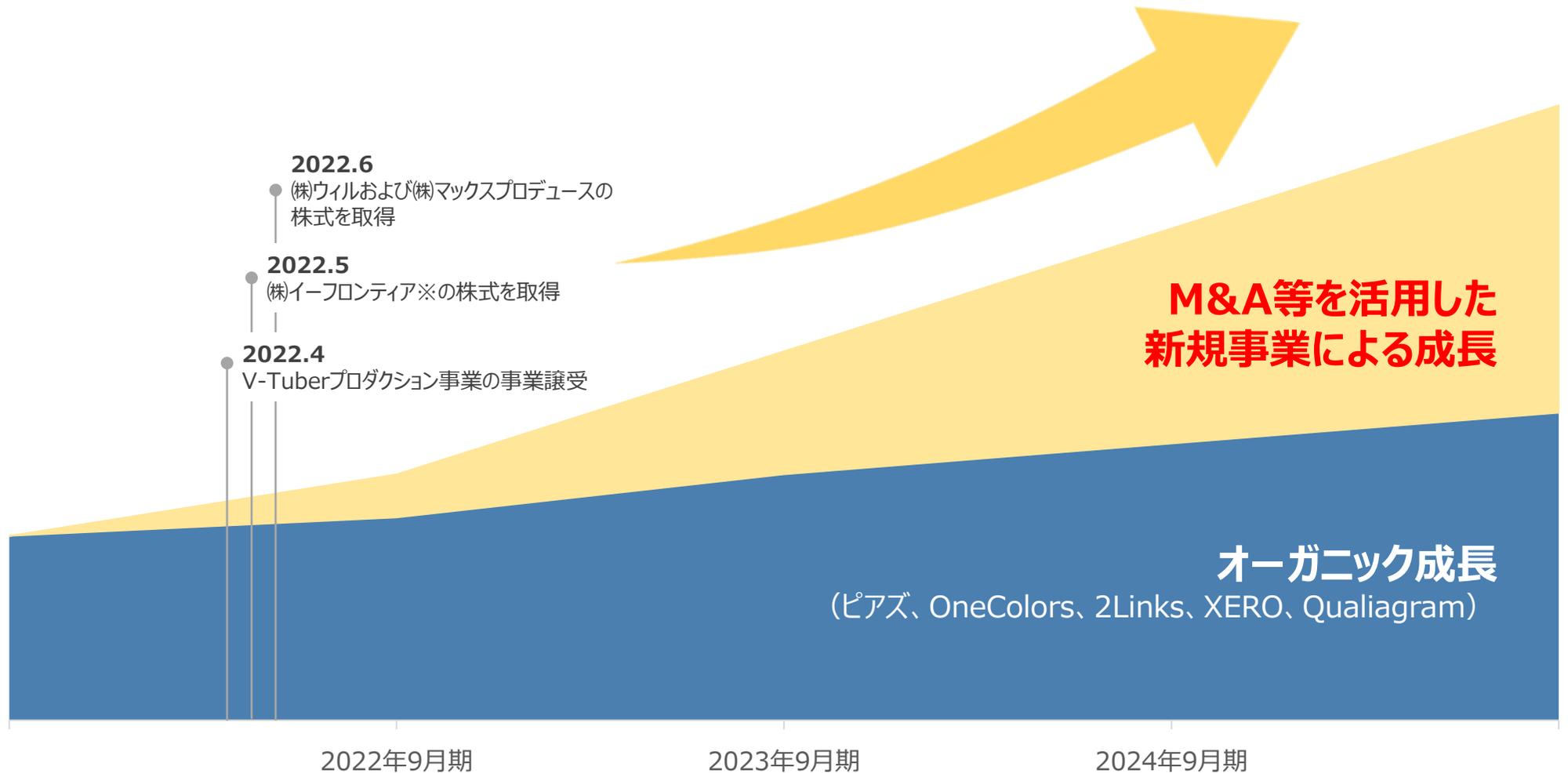
剰余金の配当について

事業拡大のための投資を行うとともに、配当による株主への利益還元も重要な経営課題と認識。経営成績を勘案の上、例年と同程度の配当性向を維持した配当の実施を決定。

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2021年9月期)
基準日	2022年9月30日	2022年9月30日	2021年9月30日
1株あたり配当金	2円 72銭 (普通配当2円 72銭)	未定	4円 29銭 (普通配当4円 29銭)
配当金総額	12,325千円	—	9,951千円
効力発生日	2022年12月26日	—	2022年12月27日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

成長戦略

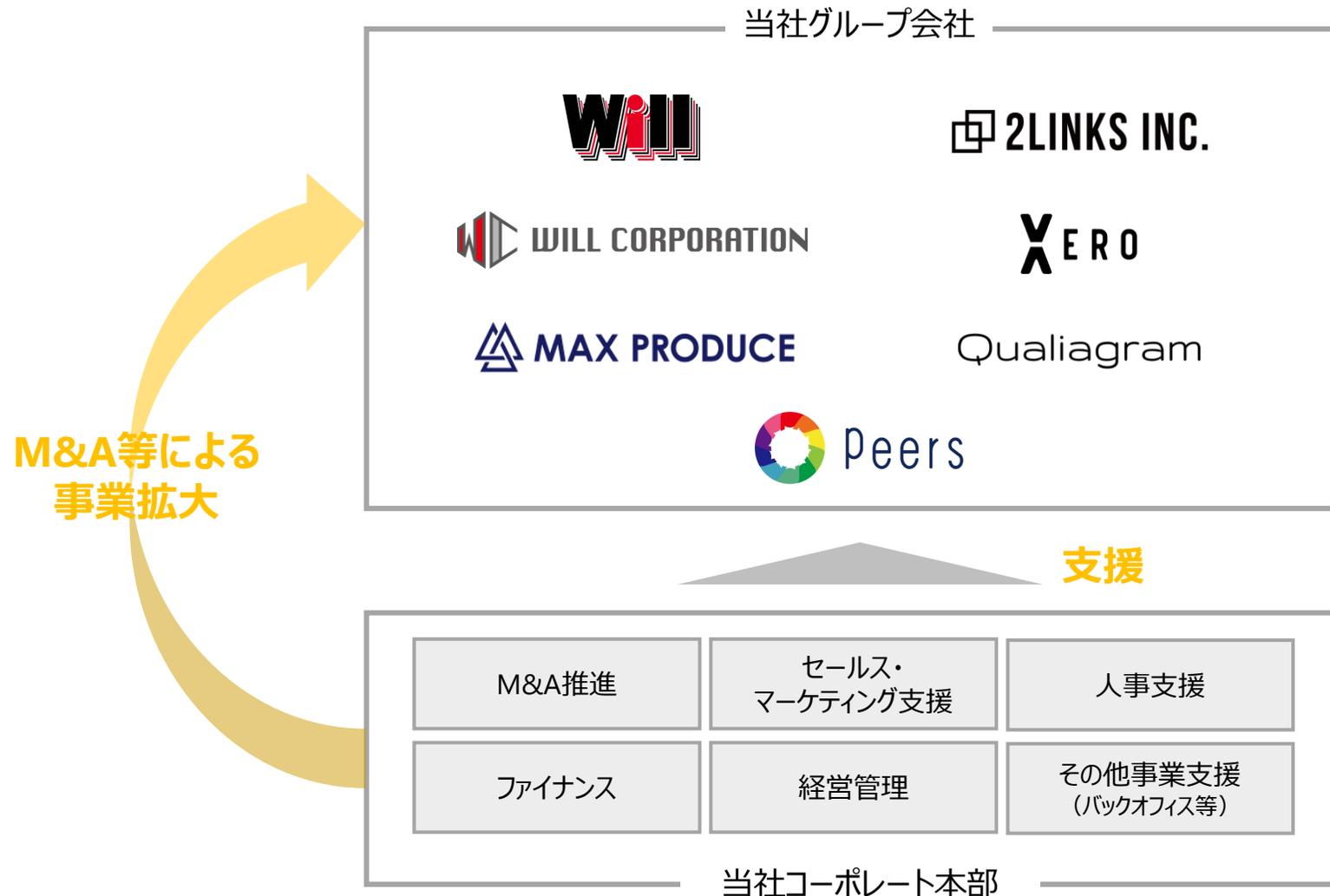
既存事業のオーガニック成長と新規事業の複数展開による成長を目論む。
2022年9月期よりM&Aの実施を積極的に行っており、これまでに4件のM&Aを実行。



※株式会社イーフロンティアは、株式会社メタライブへと商号変更の後、2022年9月26日付で株式会社ピアズへ吸収合併しております。 10

戦略実現のためのコーポレート部門強化

今後もM&A等の投資を積極的に行っていくことから、コーポレート部門の強化を行っている。
M&Aやファイナンス機能とともに、各事業会社が継続的に成長するための支援体制を整える。

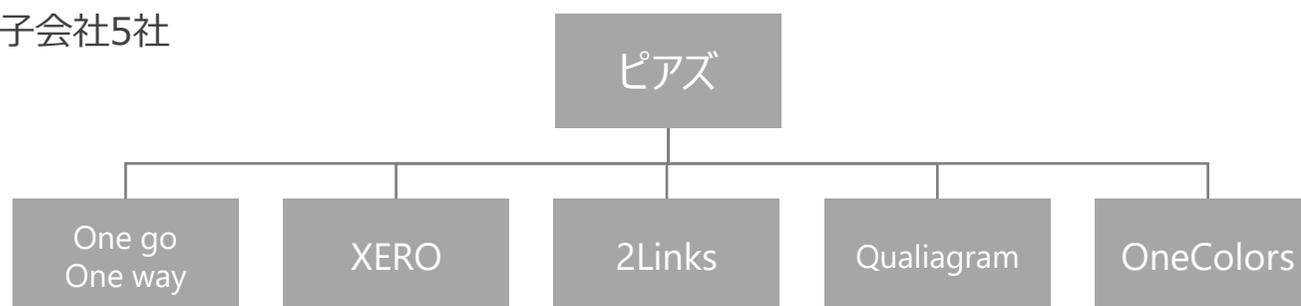


組織再編について

M&Aの実施により組織が急速に拡大。
OneColorsおよびメタライブの吸収合併等により組織再編を行い、グループ経営の効率化を図る。

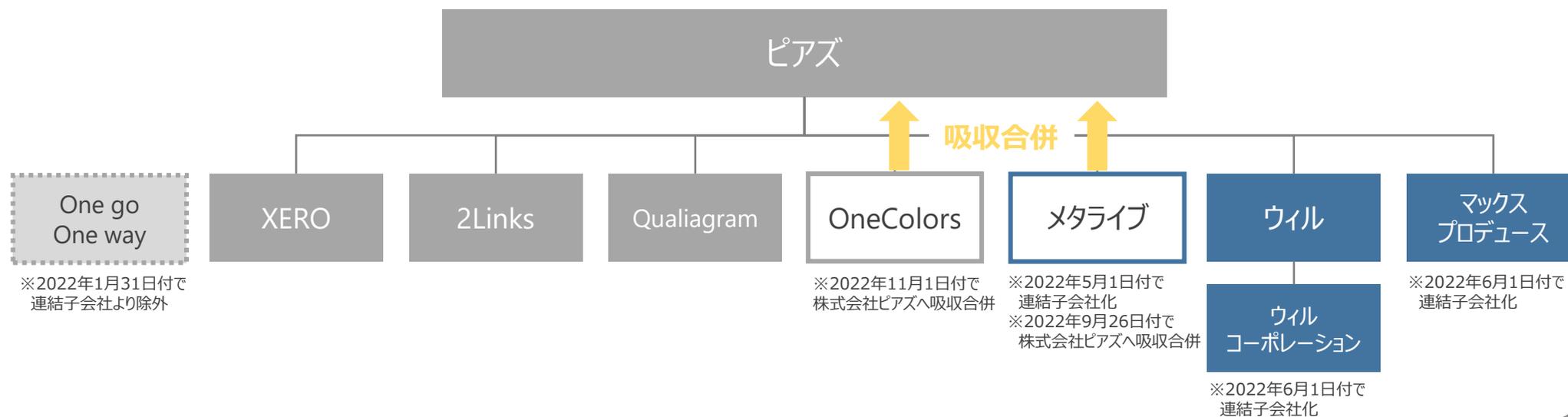
■ 2021年9月時点の組織体制

株式会社ピアズ + 子会社5社



■ 現時点の組織体制

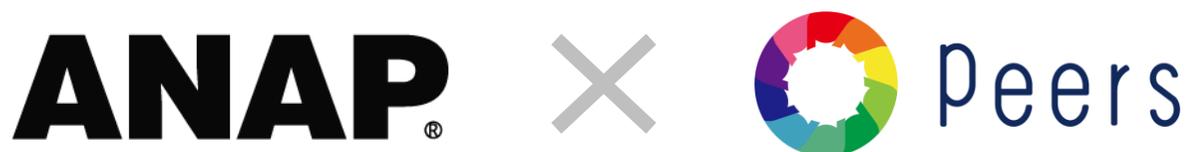
株式会社ピアズ + 子会社5社 + 孫会社1社



ANAPとの資本業務提携



2022年10月14日付で、株式会社ANAPとの資本業務提携を発表。両社のノウハウを活かし、既存事業の収益向上およびメタバース領域での相乗効果を生み出し、中期的な企業価値向上を目指す。



■ 資本提携の内容

- 第三者割当による株式の取得 : 500,000株 (2022年10月31日付)
- 市場外取引による株式の取得 : 250,000株 (2022年10月19日付)
- 新株予約権の引き受け : 1,400,000株

上記により、発行株式総数の16.2%※を取得、潜在株式考慮後の出資割合は33.0%※となる予定

※2022年8月31日時点の発行株式総数を基に試算しております

■ 業務提携の内容

店舗販売事業およびインターネット販売事業における収益効果の増大

- 1) ANAPのリアル店舗に対し、当社のセールスプロモーション事業で培った販売ノウハウを活かすことにより店舗の収益向上を図る
- 2) ANAPのECシステム構築ノウハウと当社のオンライン接客ノウハウを組み合わせることで、インターネット販売事業の新たな可能性を引き出す

メタバース事業の促進

両社のノウハウをかけあわせ、Web3.0 領域における 3D アプリ開発や関連事業の促進

中期経営計画の取り下げについて

2021年5月14日公表の中期経営計画について、
本計画策定時と現状の取り組みが異なってきたことから本計画を取り下げることを決定。

■ 中期経営計画（2021年5月14日公表）

(単位：百万円)	2022年9月期※	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
売上高	3,400	6,000	8,000	10,000
営業利益	40	100	200	800

※2022年9月期の計画は、2021年11月12日付で更新した数値を記載しております。

■ 取り下げの理由

2022年1月の副社長の選任をはじめとする新経営執行体制を発足し、M&Aを中心とした新たな取り組みを開始したことから、本計画策定時との取り組みが大きく異なってきたため。

■ 今後の方針

今後も引き続きM&Aについて積極的に検討を進め、中長期的な成長に向けた様々な投資を機動的かつ柔軟に実行していく。

当社グループの経営方針や財務状況等を株主、投資家の皆様に正しくご理解いただくための情報開示のあり方として、単年度毎の業績見通し及び中長期的な取り組みを適宜公表する。

「事業計画及び成長可能性に関する事項」に関しては、毎年12月の開示を予定。

2023年9月期 業績予想

オンライン接客を中心とした既存事業の成長と新規事業の複数展開による成長を見込む。
事業環境を踏まえたM&Aの実行を検討するため、レンジでの開示。

(単位：百万円)	(参考) 2022年9月期 通期	2023年9月期 通期	前年比	
	実績	計画	増減額	増減率
売上高	3,793	5,705~7,080	1,911~3,286	+50.4~ +86.6%
営業利益	76	31~100	△44~24	△58.3~ +31.8%
経常利益	84	2~71	△82~△13	△97.3~ △15.9%
親会社株主に 帰属する当期純利益	67	3~65	△64~△2	△95.3~ △3.2%
EBITDA	193	323~336	129~142	+66.6~ +73.7%

引き続きグループの企業価値向上に向けて既存・新規事業の両軸で取り組む。

3Qに実施したM&Aの業績貢献が本格開始、既存事業の収益改善による黒字転換

- 3Qに実施したM&Aの連結開始により、4Qにおける過去最高売上高を大幅更新。
- 既存事業の収益改善により、4Q単体で営業利益109百万円を計上し、黒字転換。
- 最終利益においては、3Qに買収した(株)イーフロンティアの負ののれん発生、および、繰越欠損金の引き継ぎにより法人税等が減少し、増益となった。
- 期末配当については2円72銭で実施

M&Aへの積極投資を行う方針から、中期経営計画を取り下げ

- M&Aの取り組みを開始し、中期経営計画策定時との取り組みが大きく異なってきたため、中期経営計画を取り下げることを意思決定。
- 今後は、単年度毎の業績見通し及び中長期的な取り組みを適宜公表する。
- 「事業計画及び成長可能性に関する事項」に関しては、毎年12月の開示を予定。

2023年9月期業績予想

- オンライン接客を中心とした既存事業の成長と新規事業の複数展開による成長を見込む。
- 継続的なM&Aの検討など、事業環境を踏まえた投資を行い、成長を加速させる。

免責事項



- 本資料に記載された将来情報等は、本資料作成時点における弊社の認識、意見、判断及び予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますのでご承知おき下さい。
- 本資料に記載されている弊社及び弊社以外の企業に関する情報は、公開されている情報などから引用しており、その情報の正確性などについて保証するものではありません。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社ピアズ 管理部 IR担当

E-mail : IR@peers.jp

URL : <https://peers.jp/ir/contact>